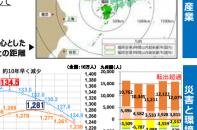
現状·課題

■ 基幹産業や再生可能エネルギーなどを背景に高い成長力を有するものの、人口減少や大規模災害などの課題も存在する九州圏

- ・アジア大陸に最も近い圏域で、アジアの 主要都市とも近接。
- アジアの玄関口(ゲートウェイ)として 貿易やインバウンドが拡大。
- 外国人労働者数は増加傾向。

福岡を中心とした。 アジア主要都市との距離 (九州圖:10万人)



- 半導体産業や自動車産業、農林畜水産業等 の基幹産業が堅調に推移。
- 農業算出額のシェアは高く、我が国の食料生産 拠点を形成。
- 近年はIC(集積回路)生産額の全国シェアが 大きく伸び、グローバルな産業生態系を形成。

・風水害・土砂災害・火山災害や

世界自然遺産や温泉など豊かな

自然環境を保有。

南海トラフ巨大地震等の災害への

対応や交通基盤の冗長性確保が必要。





<データ①:産業別修正特化係数(生産額ベース)*1>

水産業(0.3米円)

林業(0.06米円)

農業(18米円)

本海国土軸

電子部品・デバイス(2.6兆円)

ガマ・熱供給業(0.8米円)

産業等の強みを客観的に把握

部品・デバイス | 等の産業に強みを有している。

全国平均= 1

2.3 1.00 2 2 2.0 1.9 2014年

九州圏は、産業別修正特化係数(生産額ベース)(データの)をみると、「電子

• IC (集積回路) の生産額については、過去10年、増加傾向で推移してお

り、圏域内で半導体産業関連の投資が進んでいる(データ②及び左図「産業」)。

<データ②:九州圏域の集積回路生産額推移※3>

2019年

2024年

※本地図は我が国の領土を網羅的に記 1.たものではない。 ※高規格道路ネットワーク図について は令和7年4月1日時点の情報。また

北九州、福岡都市圏については、-部の路線を図示していない。

; (※1)環境省、(株)価値総合研究所「地域経済循環分析(2020年試行版Ver.8.0)より作成。産業別 修正特化係数とは、地域内の産業出荷額のシェアと全国の産業出荷額のシェアを比較し、貿易を考慮し た係数であり、同係数が1を超えるものが全国平均よりも強みのある産業(集積している産業)といえる。 (※2) 生産額と産業別修正特化係数の両面からこでは「電子部品・デバイス」産業を強み産業と評価。 (※3)九州経済産業局「鉱工業動向等 IC生産実績 |を基に作成

四国圏

との連携

現格道路(供用中

整備計画路線 (建設由区間 整備計画路線 (未着工区間

秦規格道路 (事業中 高規格道路 (調査中)

75.55 SE 00.60 整備計画路線 (開業区間)

高校生や大学生に該当 138 する24歳以下の若い世 124 代が他圏域に転出超過。120

人口減少、少子高齢化

が進み、担い手、後継者・

合計特殊出生率は全国 平均より高い。

不足が顕在化。

▲人口の推移

出曲) 国勢調査 (1990~2020年) · 人口推計 (2024年10月1日現在)

-3,509 -6,787_{-7,088} -829 1,220 -5 000 -1,051 -917 転入超過 2020年2021年2022年2023年2024年 1 0~19章 20~24章 25~64章 65章 4 ▲年齢別転入転出 超過数

九州圏にて近年発生した災害と 南海トラフ巨大地震時の津波 ▶ 被害甚大エリア

将来像·目標

アジアの成長センター『アイランド九州』 ~個性・魅力を発揮しながら、ひとつにまとまり発展し、誇れる九州~

目標1 成長エンジン「アイランド九州」 ~交流と変化を競争力へ~

ゲートウェイ機能を強化し、多様な人々が集い賑わう国際 交流拠点を形成することで、国際競争力の向上とイノベー ションによる新たな産業の創出を促し、圏域内の経済や暮ら しを成長させるとともに、その効果を国内他圏域へ拡大する 重要な役割を果たす。

目標2 自立型広域連携「アイランド九州」 ~快適で幸福なくらしへ~

成長が離島・半島・中山間地域まで行き渡り、幸福度の高 い魅力的な生活環境を構築するため、デジタルとリアルが融 合し都市の利便性と地方の快適性が共生した地域生活圏 の形成を目指す。

目標3 強く美しい「アイランド九州」 ~持続可能でしなやかな社会へ~

地震や豪雨、火山等による大規模自然災害等に対し、強 靱な九州圏を構築するとともに、美しい自然を保全し、環境 負荷の少ないカーボンニュートラルの実現をリードする、強く 美しい圏域を目指す。

広域連携プロジェクト

1.アジア、そして世界と日本の交流・連携・成長 拠点プロジェクト

▶ アジア諸地域に近接した 立地特性を活かし、国際 連携・交流と競争力を強

化。アジアの成長センター として経済を牽引。 ▶ ゲートウェイ機能強化のた

め、陸海空シームレスな ▲国際物流ターミナルの整備による国際船舶 貨物輸出を強化する取組 ネットワーク整備を推進。 【博多港 アイランドシティコンテナターミナル】

(事業例)

・国際拠点港湾・重要港湾の機能強化や強靱な物流ネットワーク構築、 特殊車両通行許可の迅速化推進 など

3. 強みや特色を活かした持続可能な産業振興プロジェクト

- > DX・GX推進等、社会経済状況の変化に対応した各産業の基盤整備 を推進。自動車・半導体等の各産業にも波及させ、経済安全保障と生 産拠点の形成・強化。
- 農林畜水産業では食料安全保障の強化、輸出拡大、6次産業化等、 稼げる農林畜水産業を実現し、発展を促進。
- 観光産業では、九州圏一体となった取組により「観光アイランド九州」の 発展を促進。
- この他、地域の特色を活かした産業分野で、新たな産業の発展を促進。
- ・新生シリコンアイランド九州実現に向けた人材育成・サプライチェーン強靱化、 観光資源の高付加価値化や九州MaaS活用による広域周遊・長期滞在化の 促進、農林畜水産業の発展・輸出拡大のための官民連携、「道の駅」等の拠点

ALC: N

▲「新生シリコンアイランド九州」実現に 向けた取組の一例 【くまもと半導体産業推進ビジョン】

DESCRIPTIONS. 九州MaaS ▲官民共創による持続

可能な地域交诵ネット ワークづくりの取組 【九州MaaS】

2. ひとつにまとまり活力を創出する交流・連携 プロジェクト

中枢中核都市と都 市·地域生活圏·集落 生活圏を陸海空の交 通ネットワークでシーム レスに連結し、九州圏 全体の活力を創出。

(事業例)

・高規格道路網の充実・ 強化とスマートIC整備等 による利便性向上、中枢 中核都市における交通円 滑化やデータを活用した



4. 中枢中核都市を核とした魅力あるまちづくり推進 5. 離島・半島・中山間地域・都市をつなぐ プロジェクト

中枢中核都市等の広域連 携拠点機能を強化し、都 市コミュニテイの再生により、 広域レベルの都市機能から、 地域コミュニティまで多世代 交流拠点を活性化。

広域圏内の情報ネットワー クを強化し、各県が自立し 取り組み、自立的な経済 循環システムを構築。

天神らいご ▲都市機能を ▲賑わい空間を

環境整備の推進、「ほこみち制度」活用

による賑わい空間創出 など

強化する取組 創出する取組 【天神ビッグバン】 【高千穂通り道路 空間再編】 一体となって地域活性化に(事業例) ・天神ビッグバンによる中心市街地活性 化と地方都市再生、無電柱化・自転車

地域生活圏形成プロジェクト

デジタル活用、官民連携により 地方の豊かさと都市の利便性 が融合、デジタルとリアルが融合 した地域生活圏の形成促進。

関係人口の拡大・深化、人材 育成・確保による地域活性化。 各地域の実態に即し、様々な

な地域生活圏の形成。 (事業例)

▲地域生活圏形成に向けた取組 取組を重層的に展開し、着実 【長崎県五島市でのドローン配送や 遠隔医療】

・離島・半島と都市部との道路ネットワークの構築、交通ネットワークとデジ タルの融合による地域公共交通の維持確保、ドローン配送、遠隔医療等 推准による地域生活圏の形成 など



6. 経験を活かした防災と豊かな環境の保全・創出プロジェクト

- ハード、ソフトの両面の対策を推進し、国土基盤の高質化・強靱化。 デジタルを活用した国土の適切な利用・管理を推進。
- 生態系の保全やカーボンニュートラルの推進、グリーンインフラの実装 等、自然環境と共生するグリーン国土の創造を推進。

アジア

地域

ゲートウェイ機能

国際競争力強化

・「流域総合水管理」や「流域治水」、「多自然川づくり」の取組等による「生態系 ネットワーク形成」の推進、高規格道路の未整備区間解消、

インフラの耐震性向上、老朽化対策の加速 など



▲国土強靱化に向けた取組 【流域治水イメージ図】

7. 国内他圏域との連携プロジェクト

- 国内他圏域との交流・連携の強化により、「国土の均衡ある発 展りの実現。
- 質の高い交通やデジタルのネットワーク強化を通じた「全国的な 回廊ネットワーク」の形成を図り、国内他圏域との連携を促進。

・インバウンド・国内観光客の誘致や滞在長期化の促進による観光 関連産業の活性化 など





▲インバウンド・国内観光客の 誘致・滞在長期化に向けた取組 【西のゴールデンルート】